

2025年12月25日
横浜ベイサイドマリーナ株式会社
八千代エンジニヤリング株式会社
東亜建設工業株式会社

港湾の脱炭素化に向けて 直立護岸を活用したブルーカーボン創出プロジェクトを本格始動

横浜ベイサイドマリーナ株式会社（神奈川県横浜市、代表取締役社長：天下谷 秀文）、八千代エンジニヤリング株式会社（本店：東京都台東区、代表取締役社長執行役員：高橋 努）、東亜建設工業株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：早川 毅）は、横浜港の港湾管理者である横浜市港湾局と連携し、港湾の脱炭素化に向け、直立護岸を活用した CO₂ 吸収源「ブルーカーボン」となる海藻を繁茂させるブルーカーボン創出プロジェクトを進めています。

2024年度の実証実験（試行）に続き、2025年度は新たにコンプを追加した本格実験を予定しており、2026年1月には環境教育イベントを実施する運びとなりましたので、下記の通り、お知らせします。

■ 「ブルーカーボン学習」～みて・ふれて・まなぶ～「ワカメ種付けイベント」開催

プロジェクトの一環として、環境への理解を深めていただくイベント「ブルーカーボン学習～みて・ふれて・まなぶ～」を開催します。

■開催地：横浜ベイサイドマリーナ

■開催日：2026年1月17日（土）

午前の部：9:00～12:00 定員15組（親子2名/1組）

午後の部：13:00～16:00 定員15組（親子2名/1組）

■対象年齢：小学生程度

■カリキュラム

①海ごみ問題とは？（講義）／40分程度

②ブルーカーボンとは？（講義）／40分程度

③ワカメ種付け体験／1時間程度

■お申込みはこちら（先着順）

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf_17qziY3oN9TlbevRhnkCnpBmheTxtQwlzDgMLTzBhil3g/viewform



横浜ベイサイドマリーナ

■ 2025 年度プロジェクト概要

■実施概要

護岸壁面上にワカメおよびコンブの種糸を巻き付けたロープを取り付け、2026 年春ごろの生育最盛期に一部を採取、株数・湿重量を測定し、ブルーカーボン量を算定します。

※本プロジェクトは、港湾管理者などの十分な理解を得て実施しています。

■実施箇所

横浜ベイサイドマリーナ地区内の護岸

■実施期間・スケジュール（予定）

2026 年 1 月～2026 年 5 月（予定）

►実証実験開始：2026 年 1 月～順次

昨年度から継続しているワカメの育成に加え、今年度は新たにコンブの育成実験を予定しています。

►環境学習「ブルーカーボン学習①」：2026 年 1 月 17 日開催

ブルーカーボンや海ごみ問題について学ぶとともに、ワカメの種付け体験ができる環境学習（小学生対象）を実施します。

►環境学習「ブルーカーボン学習②」：2026 年 3 月予定

成長したワカメの収穫や試食をする食育体験を行います。また、タッチプールを設置し、海藻が育つ「藻場」の生き物に触れる体験も計画しています。

■ 「ブルーカーボン創出プロジェクト」特設サイト

プロジェクト概要や想い、イベント情報などを発信する特設サイトを開設しました。

https://www.ybmarina.com/blue_carbon/ (横浜ベイサイドマリーナ Web サイト)

■ 本件に関するお問い合わせ先

横浜ベイサイドマリーナ株式会社

企画総務課 畠山、村上

TEL : 045-776-7590

